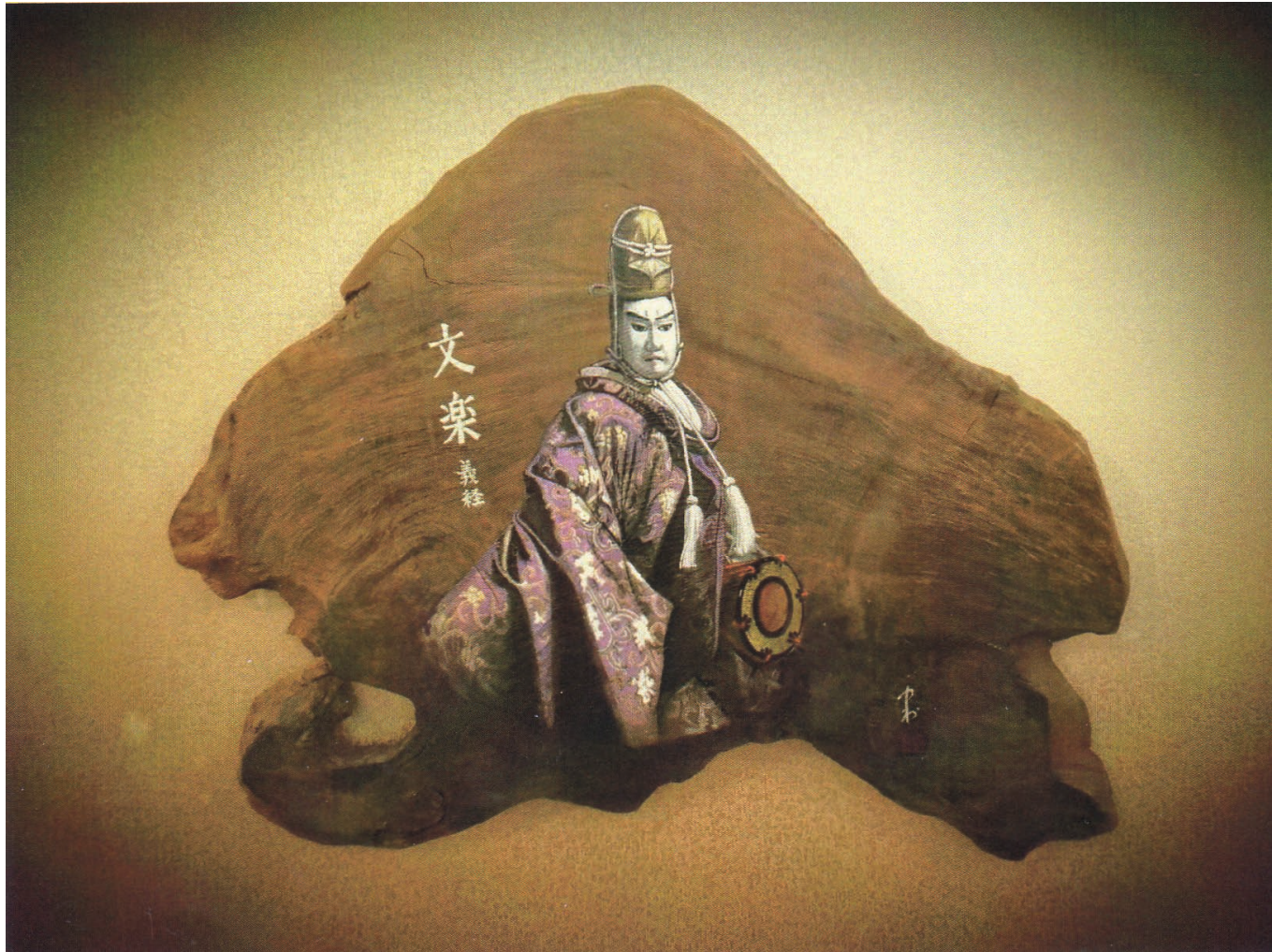


義経千本桜

神代杉

中村明正(宇治久世)



70歳から日本画を習い始め、10年が経過しましたので、2014年初夏に「傘寿記念作品展」を開催しました。そのうちの一点を示します。

初めは自然釉陶器を画いておりましたが、その後

は仏像、文楽、城と進めております。7年前に文化財の神代杉(1000年近く埋れていた杉)に出会い、これに落書きしている者はいないということで、力を入れています。

謹賀新年

2015年 元旦

本年もよろしくお願ひいたします

京都府保険医協会 理事者・事務局一同



購読料 年8,000円  
送料共 但し、会員  
は会費に含まれる

発行所  
京都府保険医協会  
〒604-8162  
京都市中京区烏丸通蛸薬師  
上ル七観音町637  
インターワンプレイス烏丸6階  
電話 (075) 212-8877  
FAX (075) 212-0707  
編集発行人 久保 佐世

新春特集

特集I 宇治久世悠久 (2~4面)	特集II 総会記念講演「言葉と力」 (4面)	特集III 講演録・江戸から学ぶ日本の倫理 (5~6面)
----------------------	---------------------------	---------------------------------

- ご用命はアミスまで
- ◆医師賠償責任保険
  - ◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
  - ◆針刺し事故等補償プラン
  - ◆自動車保険・火災保険
- ☎075-212-0303



世界に秀でた国民皆保険  
支える開業医の再評価を

理事長 垣田 さち子

明けましておめでとうございます。今年、戦後70年目という節目となる年です。

武士階級が支配する封建制時代を終らせ、明治維新による近代化が始まったのが147年前。それから26年目に日清戦争、その10年後に日露戦争、さらに26年後には満洲事変を引き起こし日中戦争へ。そして、太平洋戦争へ突入。国家予算の半分以上が軍事費という異常な国のあり方を経て「無条件降伏」という結末で、ようやく国民主権と平和を手に入れることができたのです。

惨憺たる戦争の体験を深く反省し、二度と戦争をしないことを誓って、戦争放棄を高らかに宣言した平和憲法を制定したのでした。

あれから70年、国民生活の幸せ度の課題はさまざまに論じられますが、戦争をしない、他国の人を武器で殺さない約束は守ってきました。平和憲法を堅持してきたのです。

国民主権の前提となる代議員制度において、一票の格差が違憲状態であるという最高裁判決が出たにもかかわらず、是正されないまま選挙が行われるなど、国民の意志が正しく反映されない今の国会は大問題ですが、70年前までは女性に選挙権さえありませんでした。政治参加を保障する投票の大切さを私たち自身がもっと自覚する必要があります。

国民の命と健康を守る仕事に就いている私たち医師にとって、この70年は誇るべき年月でした。

戦後しばらくは、先進国中最低であった日本人の平均寿命・男性50歳、女性54歳が、一昨年に男性は80歳に達し、女性は87歳で世界一の長寿の国となったことです。

この快挙に世界が注目し、要因として、海のもの、山のを組み合わせた工夫された和食の献立、生活の隅々まで常に清潔を心がける日常の暮らし方、高齢者を温かく受け入れる社会のあり方、平等を保障する教育の機会均等など、さまざまな角度から議論がなされています。

特に、日本の医療制度は、少ない費用で効率的に医療を提供している優秀なシステムとして、世界から羨望の眼差しが注がれています。にもかかわらず、歴史に逆行する形で進められてきた社会保障制度改革が、いよいよ実施に移されようとしています。

私たちが70年かけて作り上げてきた国民皆保険制度と、これを支えてきた日本の開業医の成果を、改めて国民全体で再確認する時です。

本年も、理事・事務局一同、力を合わせてがんばりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。会員の皆さまにも、幸多き一年でありますように祈念致します。

特集 I

地域紹介シリーズ11

# 宇治久世悠久



地域紹介シリーズ第11弾となる「宇治久世」座談会を、平等院内にある最勝院で開催。出席者は宇治久世医師会の土井邦紘氏、門阪庄三氏、松田かみ氏、寺崎充洋氏、増井明協合理事、磯部博子協合理事(司会)で、宇治久世の地域医療の移り変わりや現状を語っていただいた。また、ゲストに宗教法人平等院事務局長の宮城宏索氏をお招きし、平成の大改修を行った平等院の裏話や、地域の歴史などについてお話しいただいた。

## 第1部

### 貴重な文化財

#### 後世に伝えるために

#### 鳳凰堂の歴史と黄金の30年

**宮城** そもそも平等院といふのは、どの宗派にも属さないという非常に変わったお寺で、おおむね江戸時代から、浄土宗と天台宗の2カ寺が平等院を管理するといふ、非常に珍しい構成になっています。平等院鳳凰堂は藤原頼通が創建したのですが、およそ150年から200年に一度は解体を伴う大規模な修理、またその間の50



宮城 宏索氏 (宗教法人平等院事務局長)

直近では、戦後間もなく1951年から約7年間の、鳳凰堂の中心のお堂を解体して大規模な修理をしたのですが、これは国の復興シンボルとして行われ、文化的なところに国民の目を向けさせるという意味合

#### ポリウムゾーンで立て直し

年から70年の間に、解体を伴わない小・中規模の修理を繰り返して現在に至っています。明治政府になって初めて、お寺に文化的な価値を認めて、国が関与する形で大きな修理を行いました。

私が大学を出てこの仕事についてのが1988年、ちょうどバブルの真最中でした。子どものころ川崎病を患い、もともと心臓が悪かったの、一般企業で働くのは無理だろうと何の考えもなしに家の仕事についてしまったのですが、その当時平等院は非常に硬直化した組織になっていました。あと10年から20年で小・中規模の修理の準備をしなければならぬ。修理

をやることを大前提として組織を立て直しを図らなければ、平等院自体が回っていかないというのが、この時期の私の大きな課題でした。そこでまず考えたのが、宝物館を建て替えて代替施設を図ろうということ。そのための資金計画と、そのための折衝を始めました。同時並行で退職者のフォローとしては、一般企業と同様にパート採用へと切り替え、人件費の削減とランニングコストを下げるということをやりました。



増井 明氏 (協会理事)

いも大きかったのかもしれない。当時、国宝の修理として最初に着手したのが平等院鳳凰堂と中尊寺でした。明治から戦後しばらくは、平等院に拝観に来る人は非常に少なかったのですが、この修理と同時に大きな転機を迎えます。戦後から非常に出生率が上がり、その方たちがちょうど10歳から15歳になった時期に、日本では修学旅行が始まり

#### 平成修理のポイント

今回の鳳凰堂の修理では、960年前の創建当時に近い形で修理を行うことを目指し、あらゆる科学調査を10年くらい前から繰り返してきました。今回の修理の一番大きなポイントは木部の塗装で、科学調査に基づき、酸化鉄、いわゆる「丹土」を膠で塗るといふ昔ながらの工法で行うことになりました。これが昭和の修理では、なぜか神社に塗る「鉛丹」というオレンジ色のような塗料で塗っていたんです。今回の修理ではきちんと科学調査をして平安時代に使用されたものを確認

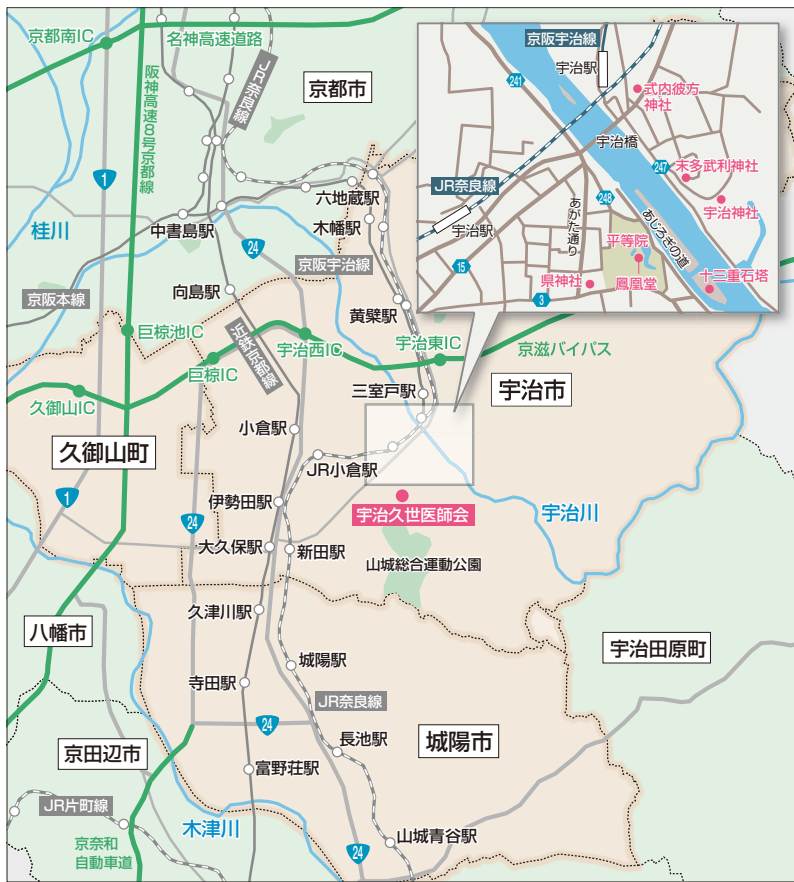


土井 邦紘氏

準備中に阪神大震災が起きました。当時の行先としてまず挙げられたのが、京都・奈良のお寺、伊勢神宮などだったのです。昭和修理以後の日本の高度成長と相まって、平等院は非常に多くの拝観者を受け入れることになりました。それから30年、運営に何の支障もなく、経営的なことは全く考えずに過ごしてきたのだと思う。

準備中に阪神大震災が起きました。当時の行先としてまず挙げられたのが、京都・奈良のお寺、伊勢神宮などだったのです。昭和修理以後の日本の高度成長と相まって、平等院は非常に多くの拝観者を受け入れることになりました。それから30年、運営に何の支障もなく、経営的なことは全く考えずに過ごしてきたのだと思う。

物館の建設に入り、2001年に鳳凰堂としてオープンさせました。その後03年から08年まで、本尊と天蓋の修理を行い、その間なんと宝物館で一般のお客様をお迎えしながら運営しました。一方で鳳凰堂本体の修理に向けてもいろいろ実験・準備を行い、鳳凰堂修理に着手したのが2年前で、この9月に何とか落成にまでこぎつけました。



私がお仕事を始めて2年目あたりの1990年の人口動態をみると、昭和修理が終わった後に大量にお越しになった層が、30年後には40代、50代でした。大学を出た若輩者であった私をおさえるということが、たぶん我々の運営上欠かせないだろうと考えました。

判断した酸化鉄を使って塗装をしました。屋根瓦は、平安の瓦が700枚くらい、鎌倉・室町・江戸それぞれの時代の瓦が少しずつ残っていますので、使えるものは再利用しました。残念なことに、明治修理と昭和修理の瓦は劣悪な状態だったので、正面部分は全て平成の瓦で造り直しましたが、新しい瓦は貼るといふ方法をとりまし

た。ここだけが違う工法なので、約7重に金箔を貼る、フッ素コーティングをして、10年から15年は風に耐えられるような形での仕上げにしています。私自身、この30年の間にやはり無理がたたって、30歳くらいのときに心室頻拍を起すようになり、アブレーション、植え込み型のペースメーカーを植えました。

増井 鳳凰堂の修理で使われた平安時代の色合いというのは、古い寺院修理ではポリウムゾーンなものでしょうか？

宮城 鳳凰堂はものすごく大きな寺域でしたが、ここに残っています。鳳凰堂だけが奇跡的に残っ

宮城 丹土(酸化鉄)に関しては、奈良から平安にかけては間違いなく多く使われていました。それが、江戸期になるにしたがってほぼ鉛丹が使われるようになり、平等院でもその時期には鉛丹が使われています。何かがセオリーかはその時代によって左右される



(3)面からの続き

かせないのが病診連携ですが、心筋細動や脳卒中の病診のパスについては、今のところ検討中です。11月には、病院と開業医の先生方に集まっていたら、勉強会(医療研究交流会)を開きます。市民向けにも認知症をテーマとした市民フォーラムを行います。門阪先生や松田先生にも協力いただけて、先ほど言われたようなことをぜひとも市民に向けてもアナウンスしていただきたいです。

在宅に外科医が登場することはあまり今までなかったのですが、気管切開の在宅などはあるんじゃないでしょうか？

門阪 たくさんあります。内科医が気管切開しているところも。宇治市で今、年間1600人くらいの方が亡くなられますが、10年後にはそれが今より6000人くらい増え、入院する人も増えることになるかと、大変な時代が来るんじゃないかと。そのうえ、宇治市の1世帯平均の家族数は2.3人ですから、10年後にはほとんど夫婦2人で住んでいて、片方が死に至る病気になったときに、どこの病院がケアしてくれるのか。私の患者さんの状態が悪くなり在宅で診るという場合は、家族の人も知っているし、信頼関係があつての話ですから、わりとやりやすいですが、大きな病院から送られてきて、あれよあれよという間に悪くなられたら、もう本当につらいですね。

土井 急性期の病院(病棟)の在院日数が限られてくると、少々重症でも退院させないといけない。そうすると引き受け先となる医療等にまだなじまないうちに変化が起こり、患者さんや家族にとつては不満が出てくる。そういうときに2



平成修理後の平等院鳳凰堂(平等院提供)

期・回復期の病院(病棟)からも各々逆紹介率が定められており、退院を迫られることが多くなります。けれども一般の人たちは、大変な時代が来るということはないでしょうか。

門阪 そういふことを、あまり国も言わない。私たちが言わないとだめなんです。

儀部 宮城さんは、医療関係者でない立場からみて、今のお話をこのように受け取られましたか？

宮城 30代から何度も入院して、病院の状態はしょっちゅう見ているので、これは本当に大変になってきているなあとというのは、肌で感じます。経済誌を読む中で医療関係のデータがよく出てくるのですが、京都はグループホームやサービス

付き高齢者住宅など、民間がやるような新しいタイプの施設の参入率が非常に低い。記事いわく、在宅患者さんの比率が他府県よりも高いらしいです。ですから、在宅医療の重要性は高いのではないかと思えます。

それから、この近隣では中宇治はまだ町内での見守り、行政からの巡回確認が効いていますが、ごんどの数が増えようと、そういった機能自体が本当に維持されるのか、ものすごく不安があります。

高年齢者が健康で暮らすために

儀部 京都は在宅医療が盛んだというお話が出ましたが、これを維持するには、地域の住民が健康を保

ち、お互いに支え合つて暮らすことが重要になってくると思っています。これも宇治久世の特徴の一つだと思いますが、増井先生が力を入れている特定健診については、いかがですか？

増井 特定健診というのは5年ほど前から、それまでは宇治市は市民健診と言っていました。市民健診は宇治市に住民票があればずっと受けられたのですが、特定健診になってからは、社会保険の方は健保組合に申し込んで受診券を受け取らなければならなくなり、おそろくその手間で受診率が落ちて、2013年度の宇治市の特定健診の健康診査、後期高齢者も含めての受診率がだいたい33%くらいです。医学には、病気の診断、治療、予防という三つの過程があると言わ

れています。特定健診は行う少しアピールする方法を考えてもらえたらと思います。

土井先生のご尽力で、行政の方でも直接お話しする機会が増えていきますし、その都度両方から知恵を出し合つて、受診率を向上させるため何かいい方法はないかと考えていきたいです。

地域のひととともに歩む医師会へ

土井 今お話ししたい条件が整っています。宇治久世は散策・運動するのに適した環境で、健康寿命を延ばすのに非常にいい条件が整っています。そういうところでも恵まれた地域です。

今日お話しいただいたように、政府の医療施策に対応するには我々医師会だけではだめなので、行政をはじめと多くの方の協力や一般の人たちに協力願いたいと思います。

## 特集II 永田和宏氏の記念講演 「歌」という言葉の強さ

歌人・永田和宏氏(京都産業大学総合生命科学研究部教授)を講師に「言葉と力」と題し、開催した総合記念講演(7月27日)の概要を紹介する。

### 「歌」でつながる 想い

永田氏は、人は言葉でコミュニケーションをとるが、なかなか思ったことが言えない、伝えたいことが伝えられないというジレンマを抱える。一方で、自身の体験として、「歌」としての言葉がどれほど想いを

伝え、強い力を発揮するかを美観することになったと述べて、夫人で歌人の故・河野裕子氏とラブレターの

野裕子氏とラブレターのサークルを通じて知り

たとへば君 ガサツと落葉すくふやうに

私をさらって行ってはくれぬか 河野 裕子

きみに逢う以前のぼくに遺いたくて

海へのバスに揺られていたり 永田 和宏

とくやりとりした相聞歌、そして河野氏の闘病中や臨終の際に詠んだ歌を紹介。歌に託した想い、歌だからこそ伝えられた想いを語った。

合つたふたり。当時から、多くの相聞歌を交わしてきたふたりだが、日常生活の中で敢えて口に出さなくても、大切な想いは歌を通じて分かり合えるという。

### 言葉にすることの 難しさ

恩師との思い出では、亡くなる前日に見舞った際、これが最期になるかもしれないと直感したが、ずっと伝えなければならぬと思っていた

「ありがたうございまして」の一言がどうしても言えなかった。

別れの言葉に



日常に息づく歌の偉大さを語った永田氏

たに廊下から返したが、言葉で自分の想いを伝えることの難しさをいやというほど体験したと述べた。その想いが深ければ深いほど、言葉にしたときに薄っぺらく感じてしまふ。それを恐れて言葉にしない。また、恩師とのやりとりのように、その言葉が別れの言葉になってしまつてしまうから、どうしても口に出せないなど、言葉の無力さを痛感したと語った。

一日が過ぎれば一日減つてゆく君との時間  
もうすぐ夏至だ 永田 和宏

わが晩年に君はあらずも  
ともに過ごす時間いくばくさはされど 永田 和宏

つひにはあなたひとりをお教ふ  
さみしくてあなたかかりきこの世にて 河野 裕子

会ひ得しことを幸せと思ふ  
歌は遺り歌に私は泣くだらう 河野 裕子

いつか来る日のいつかを怖る  
手をのべてあなたとあなたに触れたときに 永田 和宏

息が足りないこの世の息が 河野 裕子

2000年、河野氏に乳がんが見つかったとき、永田氏は自身が動揺してはいけないと必死で平静を装う。しかし、河野氏が亡くなってから見つけた短歌には、一緒に悲しんでほしい、病気でなく自分と向き合つてほしいと思つたことがわかつたと語り、夫婦の間に決定的な行き違いがあつたとした。

08年にがんが再発。このときは河野氏は病気を冷静に受け止め、亡くなるまで歌に想いを託した。永田氏も歌を作れば別れが前提になつてしまつたというジレンマを抱えつつ、それでもなんとか自身の想いを伝えたいと作り続けた歌を、当時の心情とともに紹介した。

特集Ⅲ

講演録

江戸から学ぶ日本の倫理

「これからの日本の医学—過去・現在・未来—を語る」企画

田中優子氏(法政大学総長)を講師に「江戸から学ぶ日本の倫理」と題し、開催した講演会(10月26日)の概要を紹介する。

江戸時代の医療と養生

江戸時代の人びとがどういう価値観を持っていたか。当然ここには様々な生活の側面があります。まずは、医療や健康、身体に関する事です。彼らが一番大事にしていた価値観は養生です。養生とは、自分で自分の生命を養う事です。生活に注意して、病気になるようにしない。これは決して長生きすることを目標としていたのではありません。

江戸時代当時の平均寿命は数字の上では低い。幼児死亡率が高かったのです。生まれつき体の弱い子は小さいうちに亡くなってしまふ。子どもたちがよく普通にかかると病気に罹り、命を危うくする病気がいくつもありました。3歳まで、5歳まで、7歳までと、子どもたちが少くも生きて延びていくことを、親たちは見守ります。子どもは3歳までは一番抵抗力が弱いです。

江戸時代、非常にたくさん人の商売が出てきて、商人という生き方が生まれまふ。商人は平安時代からいふまでもなく、その頃はまた限られた存在でした。それに対して、江戸時代の商人の活

「養生訓」の世界 養生は人びとの中の重要な関心事です。養生の詳細が記されている『養生訓』で目原益軒は、「嗜欲を節にし心気を定めること」「薬と針灸を用いて病をせむるは、兵を用いてたたくが如し」と言います。葉を飲ませたり針を使うことは病を攻めることなどだと表現しているのです。これでは戦争と同じだ。そういうたたかうという姿勢では治らない。また、「十分によからん

抵抗力が弱い。その次に5歳、そして7歳。7歳というのは数え年ですから、今の年齢では6歳くらいになります。親たちはもう大丈夫だと安堵し、非常に喜ぶわけではなく、生活の質を高めたいという考えです。江戸時代当時の平均寿命は数字の上では低い。幼児死亡率が高かったのです。自然治癒力をつけることで、文学者であり医師でもあった上田秋成は、「薄衣薄食」は「ほど良きと思は過ぎたりなり」といっています。セツで書いています。



田中 優子氏 (法政大学総長)

落語に見る生活の倫理

江戸時代の生活、価値観という、みなさんの中には落語を思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれません。あるいは歌舞伎を思い浮かべる方もおられるでしょう。歌舞伎の中に、人間はこう生きるべきではないかということの色濃く出しているものもありません。落語にもそういう特徴があります。

粗忽者と与太郎 落語で描かれる世界はまた、粗忽者や与太郎でも生きていける社会です。粗忽者には落語の中ではなく、浮かべる方もおられるでしょう。歌舞伎の中に、人間はこう生きるべきではないかということの色濃く出しているものもありません。落語にもそういう特徴があります。

縁側関係 江戸時代の人間関係で、もう一つ私が注目しているのが、「縁側関係」あるいは「あがりかまち関係」です。これは私自身の経験でも

食品偽装と詐欺商法 逆に人をだますとどうなるのか。井原西鶴は、質素節約を基本とし信用を倫理とする商人の中でも、不正に手を染める人たちの物語を書いています。

あるお茶屋さんでは新しくすばらしい茶葉を売っています。ところがその新しい茶葉に古い茶葉を混ぜて

り、横にはちよつとしたおれが添えてあります。それを飲んで今日はもう寝ようか、という口癖です。落語はこういう生活を幸せの典型だとします。明日はもっと稼ごうなんてことはだれも思わない。仕事があり、仕事ができる程度の食糧があり、家族を持てるといふこと。そして夕食

人間関係の倫理 私は30年ほど前に書いた『江戸の想像力』という本の中で、「連」の思想を提示しました。江戸時代のも

五をひとりで詠みます。江戸時代にはそういう習慣はないのです。もちろん、松尾芭蕉は旅をしなから、五七五をひとりで詠んでいます。しかしそれは俳諧連句のために準備した句なのです。芭蕉の旅の目的は京都や名古屋、仙台などを旅し、地域の人たちと交わり俳諧連句を詠むことでした。旅の最中、江戸時代には存在していません。俳句というのは五七

あるのですが、私は下町の長屋で育ちました。1950年代、60年代の長屋という、暖房はありませんが、冷房などありません。夏に座り、家の人と会話をします。また日本は温気が高

法の話です。蝟の足は8本。ところがこの八助はあらかじめ一本切り取って7本にして売ります。切り取った一本は煮付けなどにし、別の方法で売るので、すね。当初、お客は蝟の足が一本少ないことには気がきません。ところがある人が気がついた。うわさがどんとどんと広まり、蝟売り八助は商売ができなくなりました。信用を失ってしまいました。信用を失ったものから、他の商売もできない。商人が信用を失うことの怖さを描いた物語です。

みんなと俳諧連句の座を持っています。俳諧連句は最初の人が発句(はく)を読み、他の人たちは句、三句と続けていきます。五七五七七五七七...と続き、江戸時代では36句が定形となります。芭蕉をはじめの発句を詠むわけですが、旅の間、座に備えいつも頭の中で五七五をつくらせて鍛えていたわけでは、複数の人で詠んでいくのですが、そこに規則があります。人間関係としてもよく似ています。「付かず離れず」という規則です。五七五七七七の関係は、付かず離れずではないけれど、離れすぎてもいけない。うまくない人は、どうしても前の人がつくった句に引きずられてしまいがちです。ともすると同じような句になつてしまふ。これを「付かず」といいます。では自分だけ自立してばいのかというと、そうではありません。離れすぎてもいけないのです。文芸好きの人たちは俳諧を少年の頃から学びます。6、7歳のときから始める子もいますし、寺子屋で習いはじめる子もいます。非常に多くの人が俳諧を通して、付かず離れすぎない関係を学んでいるのです。





私の趣味

ヌーベルバーグを語る会

中嶋 毅(東山)

私には、ひとさまに「趣味的」と言えるようなものはありませんが、「趣味画が好きで、16歳の時は、1年間に100本以上の映画を観ました。ビデオの残るフランス映画に惹かれます。デオのなかつた頃ですが、祇園会館や朝日会館のような、古い名画をやってくれる映画館があったお蔭もあって、日曜日はやトリュフォーのヌーベルバーグを語



映画館で3本立てを随分観ました。いつしか、ハッピーエンドが約束されたハリウッド映画よりも、名状しがたい余韻の残るフランス映画に惹かれるようになり、ヌーベルバーグの存在を知りました。私自身の好みはヌーベルバーグとは少し異なるものですが、ただ、ゴダールやトリュフォーのヌーベル

みんな、映画も酒も着も微妙に好みが違うから、それがまた面白いのですが、世代は同じですから、CGやアニメに席巻された感の否めない今の映画には、一随分、観ていて面白い、感性豊かな作品群が生まれました。ことは間違いありません。

た。でも、子どもたちにも、ううう思ひ出を話すと、かなり呆れられます(苦笑)。まあ、理解してもらおうつもりありませんが。近年、周遊券という制度自体はなくなりましたが、まだいろいろフリー切符が発売されています。皆様もたまにはぐらりと旅に出られてはいかがでしょう。私も時間を作りたいのですが、なかなか...

私の趣味

懐かしの周遊券

戒井 浩二(山科)

そうこうして、高校や大学の同級生の映画好きと酒好きが集まって、こんな些末な素人の知ったかぶり集団ですが、映画談議で面白い言いながら、飲む会を始めた。一時中断していましたが、また、50歳代になった頃から再開し、年一回程度ですが、今に至っています。

ペタペタと下車印だらけの周遊券(写真)、これらは昭和61年春、国試後に東北と北海道に約2週間、一人旅した時のものです。これ以外にも学生時代は周遊券で各地を旅行しました。貧乏学生にとつて周遊券は強い味方でした。時々これを引っ張り出し、眺めて

く、ちよつと見聞が広がっている何となく幸福な気分になります。あの頃は時間だけはたっぷりありました。私の場合、旅といつてもただひたすら列車に乗って降り、駅弁とその駅の硬券入場券を買い、駅の周りをぐるぐる散策、観光地巡りするわけでもありませんが、目に入るもの全て珍し



旅の証の周遊券

追記:11月6日、レイルウェイライターの種村直樹さんが逝去されたとのこと。この方の著書には多大な影響を受け、わざわざ会いに行きました。合掌。

心躍るミステリー小説

梶田 洋一郎(中京東部)



趣味は、と言つほと特別なものではありませんが、私はアガサ・クリスティの小説が大好きです。最初の出会いは小学3年生の頃、「そして誰もいなくなった」という作品を映画化したものでした。その劇的なストーリー(後述)に衝撃を受け、お小遣いをもらって駅前の小さな書店に買い求め

にいったの覚えていません。クリスティは1976年に没するまで、66作品の長編小説を残しています。基本的に推理小説なので殺人事件の解決というテーマは共通しているのですが、作品ごとに探偵役が異なり、得意とする解決パターンも異なるのが魅力です。ベルギー人のエルキュール・ポアロは灰色の脳細胞を用いて犯人を追いつめ、おばあさんのミス・マーブルはおしゃべりの中から殺人の動機を見出し、トミーとタペンスは無鉄砲な冒険をしながらドイツ人のスパイを捕まえます。その他、いわゆる探偵役が登場しないミステリーも数多く、読んでいて実に飽きません。

中でもお気に入りの「NカMか」「終わらなき夜に生まれつく」「なぜエバンスに頼まなかったのか」などは、いまだに風呂につかりながら繰り返し読んでおり、文庫本はまだらに変色

よつと思ひながらまだ一冊も読めていません。趣味は何ですか、と聞かれた時に少し箱をつけて「クリスティの原本読破です」と言えればちよつと格好いいですかね。

私のすすめる ナガラ家族会話

義務の視点からの厳密思考

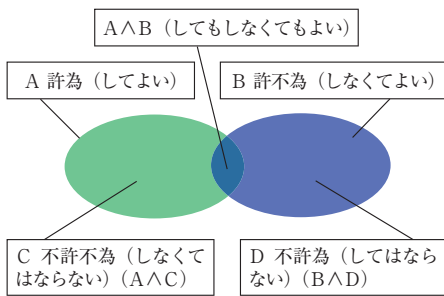
宇田 憲司(宇治久世)

自分の次に世界で一番愛する妻とも長年添い遂げ、二人の会話もきしみ始めた。今は昔、密かに尊敬していた昭和天皇が崩御される3カ月程前、妻が38歳、私が39歳の秋、宇治の地で小さな整形外科・理学診療科・小児科の無床診療所を開設した。当時はまだ若くて、今みたいに右母指の先端やら両足底がしびれ始めたり、術後の右股関節周辺に自発痛が生じて消炎鎮痛剤テープを添付したり、経口剤を服用するという事もなく、いわゆる老人の痛みがどのようなものか心から解ることはなかった。しかし、還暦を過ぎ、更に数年の歳月が流れ、二人ともいまや「高齢者」と分類される。

この言明は、「して」「あげれば」「よい」の三つから構成されるが、まず、前2者を「為す」(T at : T、為)に統合して、「よい」は法や倫理や医学的準則が「許す」(適法など:P、許)と解して、「許可」をA:「為すを許す:許為、してよい、すればよい:T⇒P;⇒:ならば、含意、条件」とし、「免除」をB:「為さざるを許す:許不為、しなくてよい、しなればよい:~T⇒P;~:

でない、否定」とした。「作為義務:当為」は、C:「為さざるを許さず:不許不為、しなればならぬ:~TΛ~P;Λ:かつ、連言」とし、「禁止」は、D:「為すを許さず:不許為、してはならぬ、TΛ~P」とする。「不」で否定される関係は互いに矛盾し、各々の連言も各々の否定の連言も成立しない(偽)。許為Aと不許為Dの間、許不為Bと不許不為Cの間は、漢文の命題構造から自明に矛盾する。また、不許不為Cと不許為Dは反対で連言は成立しない(和文の言明から自明)。

行為の有無と許容の有無の関係



上記を前提に複合命題の真理値を検討すると、AΛC、BΛD、AΛBが導出される。これをベン図で表すと、Aの円とBの円が一部で重なる5つの領域から成ることが判る。つまり「してよい(A)」場合は、「しなくてはならぬ(C:AΛC)場合」と「してもしなくてもよい(AΛB)場合」から成り、妻は前者の義務を主張したかったのかもしれないが、後者でもよいと判った。後日そう告げると、そんな会話はしたくない、とのことであった。